

優秀賞

## この1曲どの担当？

石田 裕美（派遣社員：埼玉県）

音楽のゲームというと、リズムに合わせてボタンを押すものが多いように感じます。

それも主要の音に合わせるばかりで、さまざまな楽器の存在は意識し辛いものです。

このゲームは、1曲に使われている楽器ごとに出番が変わり、音符を選ぶことができます。

例えばベートーベンの第九をオーケストラで演奏する場合、使われる主な楽器はフルート、オーボエ、クラリネット、トランペット、大太鼓……など、多岐にわたります。（独唱、混声四部合唱なども含むと、遊び方がより幅広くなります。）

フルートを選択してゲームを始めると、プレイヤーはフルート演奏者としてフルートが吹く箇所を担当することになり、フルート演奏時は音符に合わせてボタンを押し、演奏時でない時間は待ちの状態となります。この仕様によって、さまざまな楽器が協奏する曲を学ぶ機会となり、曲を通して聴くと共にオーケストラの空気を体感できます。

ジャンルはクラシックに限らず、ポップス、洋楽などがあれば年代問わずプレイヤーの確保が見込めます。楽器に親しみが薄い人はもちろん、普段から演奏する人にも、練習のために利用していただきたいです。